

技術経営戦略に関する取り組みについて

2017年4月21日

事業基盤の強化と事業領域の拡大に向けた先端技術の活用・開発を推進します。

事業環境の変化と急速に進展する技術革新をとらえ、ICTをはじめとする新たな技術の融合・活用と、さらなる技術開発への取り組みを一層深めます。これを通じて、事業基盤の強化・高度化に繋げるとともに、新たなビジネス・サービスを創出します。

事業基盤強化への取り組み

お客さま向けサービス・機器の開発

- 【ビジネス向け】
 - 生産プロセス向け電化技術・機器開発 等
 - 電気&ガスハイブリッド技術
- 【家庭向け】
 - エネルギー最適利用技術
(電気&ガスハイブリッド技術、エネルギーマネジメントシステム 等)
 - ビッグデータを活用した新たなサービス 等

低炭素化に資する技術開発

- 原子力発電所のさらなる安全性向上
- 原子燃料サイクル、次世代原子力発電技術
- 火力発電の高効率化
- 再生可能エネルギーの受入・活用拡大 等



安定供給に資する技術開発

- 劣化診断・故障対応の高度化
- 次世代電力ネットワークの形成 等
(電圧監視・制御、蓄電池・双方向通信利用 等)

事業運営の高度化・生産性向上に資する技術活用

- IoT・ビッグデータ・AIを活用し、グループ経営戦略・管理、設備形成・運用・管理および業務を効率化・高度化 等

事業領域拡大への取り組み

新たなエネルギー源に係る研究開発

- 水素発電
- 水素ネットワーク 等

新たなエネルギー利用・供給形態に係る研究開発

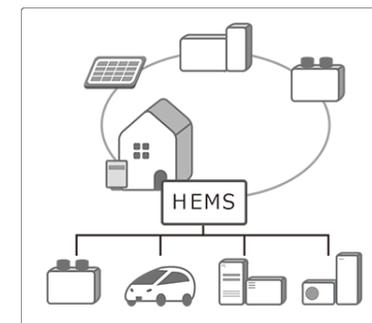
- 従来型大規模電力網と、再エネ等の分散型電源を含む地産地消グリッドの併用・協調する電力ネットワーク等

技術経営戦略の深化

- 経営戦略とR&D（技術開発）・ICT（情報通信）機能の連携を強化



- グループ外資源も積極活用



先端技術、低炭素化・省エネ技術

- IoT・ビッグデータ・AIを活用した先進サービス
- センサー技術・ロボット技術活用
- CO₂削減技術、地熱資源、バイオマス利用 等

事業環境の変化 (技術の変化)

- 「第4次産業革命」とも言われる大きな変革が加速的に進展

I o T ・ ビッグデータ ・ 人工知能 (A I) の進展が、
ビジネスや社会のあり方そのものを根底から変えていく可能性

- 再生可能エネルギー、蓄電池、省エネルギー技術など
分散型エネルギー資源 (DER※) の普及拡大

DERの普及が、エネルギー供給のあり方を変えていく可能性

※ (DER : Distributed Energy Resource)

最新技術を活用できるかがビジョン実現の鍵

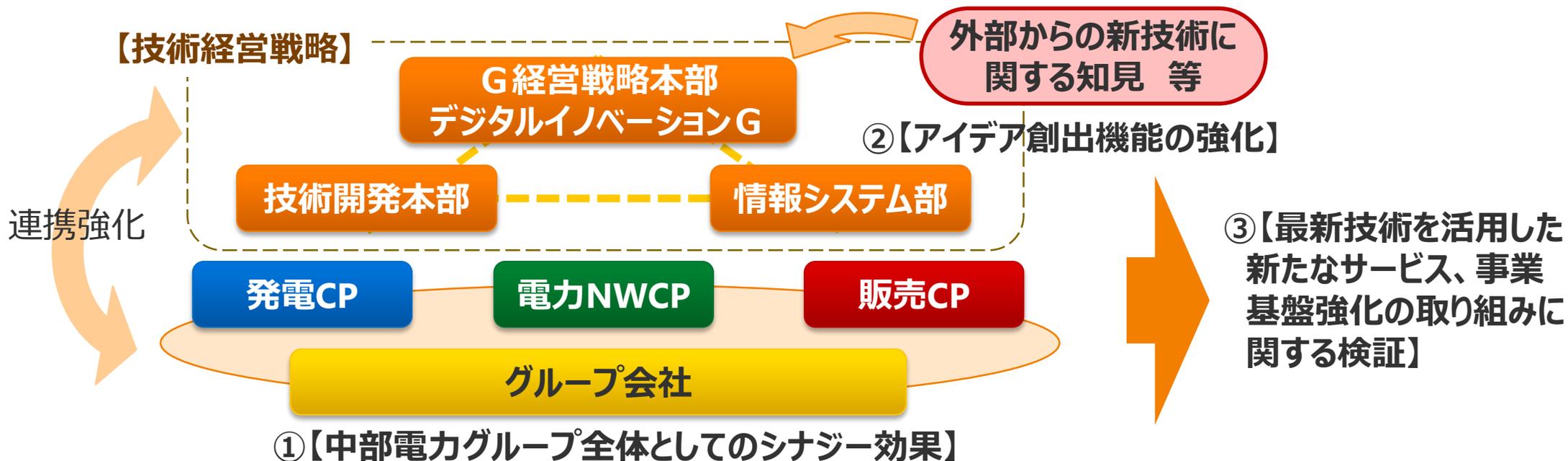
技術経営戦略

社会や最新技術の動向を幅広く注視して将来を洞察し、技術を活用・発展させて、中部電力グループの「事業基盤の強化・高度化」や「新たなビジネス・サービスの創出」の実現を目指す

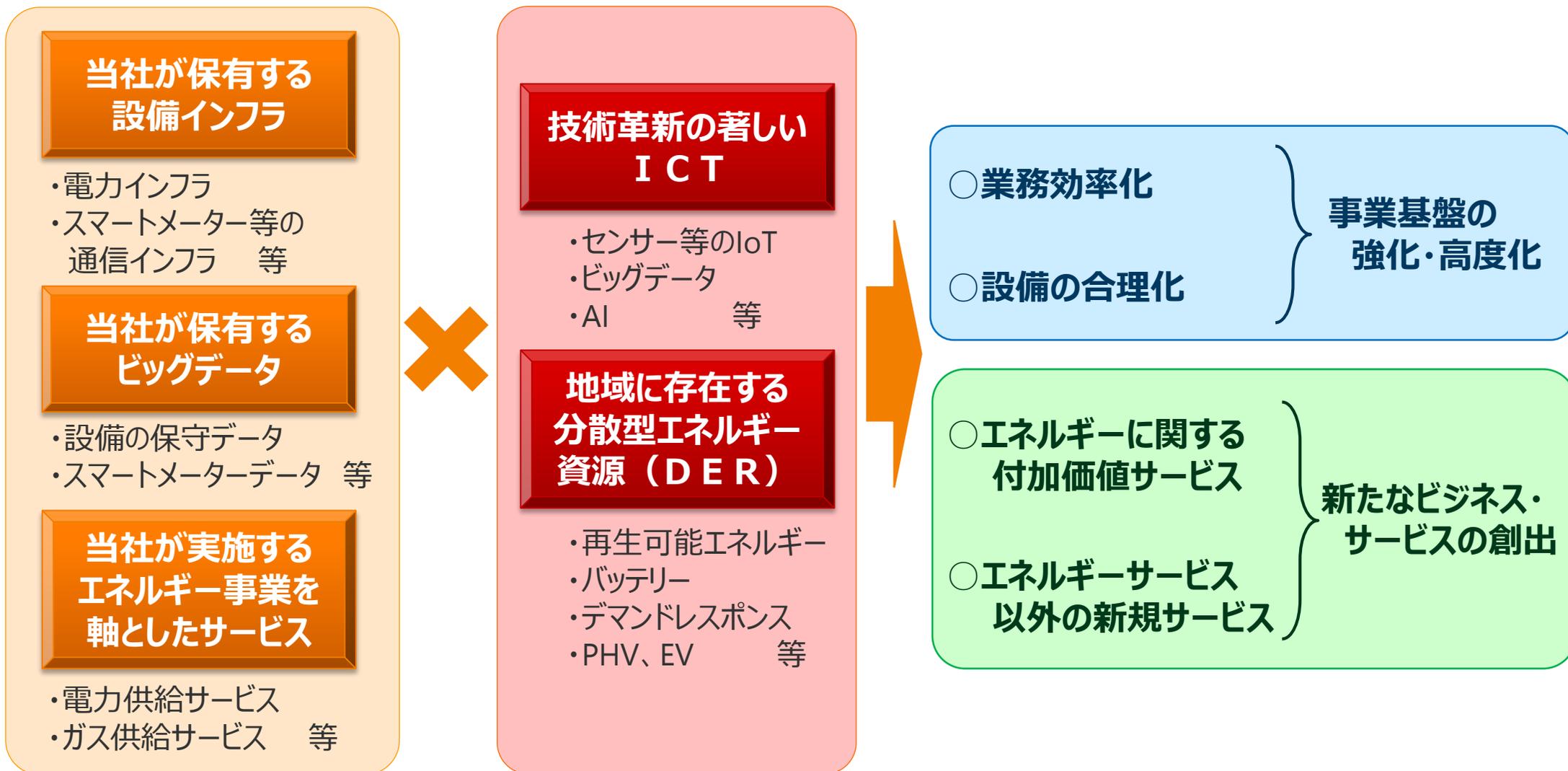
- 最新技術を活用した事業基盤の強化・高度化や、新たなビジネス・サービス創出の取り組みをより一層推進するために、**デジタルイノベーショングループ**を新設

<デジタルイノベーショングループのミッション>

- ① 社内CP制導入後、各CPが自律的に推進してきた取り組みをベースに連携を強化することにより、**中部電力グループ全体としてのシナジー効果の発揮**を目指す
- ② オープンイノベーション等の取り組みを推進することにより、**外部の知見などを取り入れ、新サービスと事業基盤の強化に関するアイデア創出機能を強化する**
- ③ 中部電力グループ全体にまたがる新たなサービスの**ビジネスモデルを設計する**。また、事業基盤の強化に関する取り組みも含めて、**検証を推進する**



- 技術革新の著しいICTや、分散型エネルギー資源を活用し、事業基盤の強化・高度化や、新たなビジネス・サービスの創出を目指していく



【ICTを活用した主な取り組み】

